

おはようございます。

5月4週目掲示板の言葉です。 先日逝去された、ホセ・ムヒカさん（ウルグアイの前大統領）が政界引退時に後進に残した言葉です。 大統領就任後の言動・実績は、公邸ではなく郊外の農場で生活し収入の9割を貧困層に寄付。 最低賃金の引き上げ、低所得者への支援策、再生可能エネルギーの普及。 世界一貧しい大統領として愛されました。 幼い頃に父を亡くし貧しい家庭で育つ。 国は経済不況が深刻化。 大学卒業後は貧困格差問題に矛盾を感じ左翼ゲリラ組織設立。 軍事独裁政権の打倒を掲げるが、その間6回被弾し瀕死状態に、4度13年間収監され拷問を受ける。 彼は、「獄中で過ごした十数年間が人生観を形成するのに役立ったあれがなかったら浅はかで卑しい人間になっていただろう。」と言っています。 結果が出なくても、明日1日しか命がなかったとしても、気づき始めるのに遅いはない、失敗や、過ちをおかしても気づき、立ち上がり進もうとすることの大切さを教えられます。

言葉の選択&感想 なまくら坊主

